

産業別四半期見通し調査結果 (2021年4～6月期見通し)

■長野県産業天気図

◇2021年1～3月期の現況

- 全12業種中、「薄日(順調)」が2業種、「曇り(普通)」が4業種、「小雨(低調)」が5業種、「雨(不調)」が1業種となった。

◇2021年4～6月期の見通し

- 見通しは、「薄日(順調)」が3業種、「曇り(普通)」が3業種、「小雨(低調)」が5業種、「雨(不調)」が1業種となった。方向感では、「やや上昇」が1業種、「横ばい」が10業種、「やや下降」が1業種となっている。

天気図記号	2020年 10～12月期現況	2021年 1～3月期現況	2021年 4～6月期見通し
晴れ(好調)	0 業種	0 業種	0 業種
薄日(順調)	2 業種	2 業種	3 業種
曇り(普通)	1 業種	4 業種	3 業種
小雨(低調)	8 業種	5 業種	5 業種
雨(不調)	1 業種	1 業種	1 業種



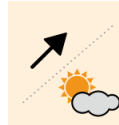


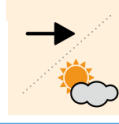


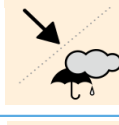


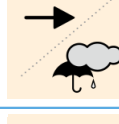


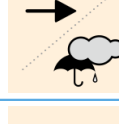


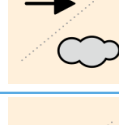




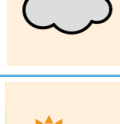



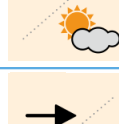


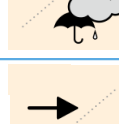
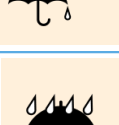


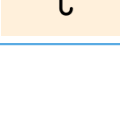
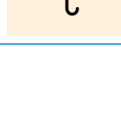

■4～6月期見通しのポイント



- 製造業では、生産用機械が「曇り(普通)」から「薄日(順調)」になる見通し。非製造業では、天気マークに変化はみられない見通し。






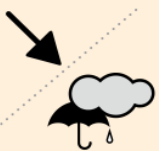
<産業別天気図一覧(12業種)>


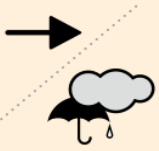
- 調査内容: 業界の「現況」、「見通し」は、県内の企業経営者が業界の景気をどうみているかについてアンケート調査とヒアリング調査をした結果を基に、当研究所が判断した。
- 調査期間: 2021年3月中旬～4月中旬
- 調査回答企業: 県内主要企業12業種の119社



業種	前期 (20年10～12月 期)	今期 (21年1～3月期)	来期 (4～6月期)
生産用機械			
電子部品・デバイス			
自動車部品			
飲料製造			
食料品製造			
機械器具卸			
大型小売			
自動車販売			
公共工事			
民間工事			
貨物			
観光			



生産用機械	東アジア向けのIT関連を中心に受注は順調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>工作機械や半導体製造装置などの生産用機械の受注は、情報通信や電子部品などのIT関連を中心に堅調だった。今後、国内・米国・欧州向けの持ち直しが見込まれるほか、中国・台湾・韓国など東アジア向けではIT関連が増加し、全体での受注は順調な見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 工作機械の受注は、国内では、主力の自動車関連で投資の慎重姿勢が続くものの、半導体関連は順調で、全体では堅調となる見通し。海外では、東アジア向けはIT関連で増加が見込まれ、北米向けは自動車関連を中心に持ち直す見通し。 • 半導体製造装置の受注は、データセンター向け、スマートフォン・PC向け、車載向けなど世界的な半導体需要の高まりから、順調となる見通し。



電子部品・デバイス	IT機器需要の増加から受注は堅調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>スマートフォン向けの部品の受注は、5G対応製品を中心に堅調だったほか、PCやタブレット、ゲーム機向けも順調だった。車載向けは、一部に半導体の不足による影響もみられたが、総じて増加基調だった。今後もIT機器の需要は増加見込みで、受注は堅調な見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • スマートフォン向けは、5G対応製品のほか、中・低価格帯の製品も堅調な需要が見込まれ、部品受注は底堅い見通し。 • 車載向けは、中国など海外を中心にハイブリッド車(HV)や電気自動車(EV)の需要が増加し、部品受注は底堅く推移する見込み。各種製造装置に組み込まれる電子制御部品は、半導体関連需要の増加に伴って、受注は順調な見通し。



自動車部品	完成車メーカーの減産により受注減少が見込まれる
<p>● 現況</p> 	<p>半導体の不足に伴う完成車メーカーの減産が一部で影響し、受注は低調となった。今後は、環境性能の高いハイブリッド車(HV)や軽自動車の需要は底堅いとみられるが、半導体の不足による影響長期化が懸念され、受注水準は低調に推移する見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 国内は、完成車メーカーの減産計画などにより、部品受注は低調となる見通し。 • 北米向けは、半導体不足や米南部の大規模停電の影響による材料不足などで、完成車メーカーの現地工場の稼働率が低下しており、受注はやや弱含む見通し。中国向けは、HVなど環境性能の高い日系メーカー車が人気で、受注は安定して推移する見込み。東南アジア向けは、新型コロナウイルスによる新車需要の落ち込みにより、受注は低調な推移を見込む。



飲料製造	需要は低調ながらも緩やかに持ち直す見通し
<p>● 現況</p> 	<p>家庭用の需要は堅調だったが、宿泊施設や飲食店向けの業務用の需要は、Go To キャンペーンの停止や緊急事態宣言再発令などにより低調だった。今後は、感染防止対策の徹底により業務用の需要は徐々に持ち直すと思われるものの、水準は低く、全体では低調な見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 果汁飲料やその他の清涼飲料水は、家庭用需要は底堅く、また、宿泊施設や飲食店、自動販売機などの利用は前年比では若干持ち直すが、例年と比べると低調な見通し。 • アルコール飲料は、清酒は宴会減少などの影響が大きく、需要は減少する見込み。ワインは、固定客による安定した需要に加え家庭用需要の増加により底堅く推移する見通し。



食料品製造	家庭用は堅調、業務用はやや持ち直すも低調の見込み
<p>● 現況</p> 	<p>緊急事態宣言再発令などの影響により、宿泊施設や飲食店向けの業務用需要は低調だった。一方、家庭用の需要は堅調で、即席みそ汁などのスープ類や加工肉等の生産が増加した。今後も新型コロナの影響から家庭用の需要は堅調が見込まれる中、業務用の需要もやや持ち直すとみられるものの、水準は低く全体では低調な見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 味噌は、即席みそ汁など家庭用の需要は底堅いとみられるが、業務用は低調な見通し。 ● 乾燥食品は、家庭用のスープ需要は堅調だが、業務用は低調に推移する見込み。 ● コンビニ向け惣菜は、移動自粛が継続し、需要増加は限定的となる見通し。



機械器具卸	機械需要は半導体関連を中心に堅調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>機械需要は、自動車関連は低調だったが、半導体関連は増加した。また、消耗品需要は製造業の生産活動の回復に伴い増加した。今後、機械需要は半導体関連を中心に堅調な見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 工作機械やFA機器などの機械需要は、自動車関連では投資の抑制が続くものの、半導体製造装置向けで増加が見込まれ、全体では堅調な見通し。機械に取り付ける切削用工具類や金属板などの消耗品受注は、安定した生産活動が見込まれ堅調な見通し。 ● 電設資材は、公共工事では施設の改修などが見込まれるが、民間工事では工場や店舗などの新設案件が少なく、全体での取扱量は低調な見通し。



大型小売	感染防止に伴う内食需要が続き、食料品は堅調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>新型コロナに伴う内食需要などにより食料品の売り上げは堅調だった。一方、衣料品は外出控えによる客数の減少などで低調だったほか、日用雑貨は買いだめで需要が大きく伸びた前年の反動減がみられた。感染防止に伴う内食需要は今後も続くと考えられ、食料品は生鮮食品を中心に堅調な推移が見込まれる。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 百貨店は、緊急事態宣言下で臨時休業があった前年を上回る客数を見込むが、催事による集客力は限定的とみられ、衣料品などは低調な見通し。 ● スーパーは、日用雑貨など生活必需品の需要が底堅いほか、食料品は内食需要により生鮮食品を中心に堅調な推移が見込まれる。

自動車販売	納車遅れが見込まれるが、新車需要は底堅く推移
<p>● 現況</p> 	<p>スポーツ用多目的車(SUV)や軽自動車の販売が底堅く、販売台数は前年とほぼ同じ水準となった。今後は、半導体の不足に伴う完成車メーカーの減産による納車遅れが見込まれるが、SUVや環境性能の高い車種を中心に新車の需要は底堅く推移する見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新車販売は、環境性能の高いハイブリッド車(HV)や軽自動車を中心に底堅い見通し。 ● 中古車販売は、新車の納車遅れにより下取り車が減少する懸念はあるが、安定した推移が見込まれる。 ● 輸入車販売は、海外からの納車遅れが見込まれるが、高価格帯の車種は堅調な見通し。

公共工事	台風関連工事は一服ながら、土木工事を中心に例年以上の工事量を見込む
<p>● 現況</p> 	<p>一昨年の台風19号災害による復旧工事は一服しつつあるが、昨年の南信地域における豪雨災害復旧工事などにより、工事量は前年を上回った。今後も台風関連工事は減少するものの、豪雨災害に伴う土木工事などにより例年以上の工事量を見込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国では、防災・減災に向けた国土強靱化計画や三遠南信自動車道整備に伴う工事の発注が継続され、例年を上回る工事量となる見通し。
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 県では、南信地域における豪雨災害復旧工事の増加が見込まれ、底堅い工事量を維持するとみられる。 ● 市町村では、災害復旧に伴う土木工事を中心に安定した工事量が見込まれる。

民間工事	新型コロナの影響で工事量は低調を見込む
<p>● 現況</p> 	<p>新型コロナの影響に伴い企業の設備投資は引き続き低調で、建築需要は伸び悩んだ。新築住宅も前年に比べて持ち直しつつあるが、消費者のマインド低下などから力強さに欠けた。今後も、民間工事は低調な工事量を見込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 民間企業の建設投資は、一部の製造業や運送業で工事が見込まれるが、新型コロナの先行きが不透明な中で受注は弱含むとみられる。
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 住宅関連は、比較的価格水準の低い建売住宅やリフォーム需要が増えるとみられ、所得環境の悪化による消費者のマインド低下等を背景に、注文住宅は低調な見通し。また、北米産木材など建築資材の価格が上昇しており、収益の圧迫が懸念される。

貨物	工業製品や外食向け食品を中心に運送量は低調を見込む
<p>● 現況</p> 	<p>工業製品の貨物需要は海外向けを中心に持ち直したが、製品やメーカーによっては弱い動きが続いた。食品も外食用の荷動きが例年を下回った。今後も運送量は総じて低調を見込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生産用機械の運送量は、設備需要の弱さに加えて世界的な大型コンテナ船不足の影響等も懸念され、例年を下回る見込み。自動車部品・電子部品関連は、一部で需要の持ち直しがみられるが、製品やメーカーごとに差がみられ、全体としては引き続き低調な見通し。
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 食品関連は、内食需要に伴い家庭用食品の荷動きは底堅い見込み。一方、コロナ禍の影響が続くとみられる外食用の飲料などは例年を下回る運送量となる見通し。衛生用品など日常的に使用する雑貨・消耗品類は、引き続き堅調な荷動きとなる見込み。

観光	感染拡大が収まらないことから、観光客数は低調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>昨年末からのGo To トラベルの一時停止に加え、感染拡大地域の緊急事態宣言再発令による影響で、スキーの団体客を中心に観光客数は大幅に減少した。一方、3月以降は県民限定の各種施策による下支えや、近隣県限定の施策も追加され県外客の動きもみられた。今後は、大都市圏での3度目の緊急事態宣言発令の可能性もあり、観光客数は低調な見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 旅客は、密を避けるためにレンタカーや自家用車などでの移動が定着しており、引き続き利用客数は低調に推移することが見込まれる。
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 宿泊施設は、大型連休を中心に予約がみられるものの、大都市圏での3度目の緊急事態宣言発令によるキャンセルが見込まれ、利用客数は低調となる見通し。